

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年12月8日 (2011.12.8)

【公開番号】特開2011-43382(P2011-43382A)

【公開日】平成23年3月3日 (2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2009-190988(P2009-190988)

【国際特許分類】

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

G 0 9 B 29/00 (2006.01)

G 0 9 B 29/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 21/00 A

G 0 9 B 29/00 A

G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月24日 (2011.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

地図データを記憶する記憶部を少なくとも備えたナビゲーションサーバ、および、制御部と記憶部とを少なくとも備えたナビゲーション装置、を通信可能に接続したナビゲーションシステムであって、

上記ナビゲーション装置の上記記憶部は、

上記ナビゲーションサーバから送信される上記地図データを記憶する地図データ記憶手段と、

上記ナビゲーション装置にてローカルに保持されるローカル地図データを記憶するローカル地図データ記憶手段と、

を備え、

上記ナビゲーション装置の上記制御部は、

上記地図データ記憶手段に記憶された上記地図データと、上記ローカル地図データ記憶手段に記憶された上記ローカル地図データと、を比較することにより、上記地図データの重要度を設定する重要度設定手段と、

上記重要度設定手段により設定された上記重要度に基づいて、上記地図データを上記地図データ記憶手段から削除する削除手段と、

を備えたことを特徴とする、ナビゲーションシステム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のナビゲーションシステムにおいて、

上記ナビゲーション装置の記憶部は、

経路案内を実行している際にリルート要求が発生した地点についてのリルート位置情報を記憶するリルート位置情報記憶手段、

を更に備え、

上記重要度設定手段は、

上記リルート位置情報記憶手段に記憶された上記リルート位置情報に基づいて、上記地

図データの上記重要度を設定することを特徴とする、ナビゲーションシステム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のナビゲーションシステムにおいて、

上記重要度設定手段は、

上記地図データ記憶手段に記憶された上記地図データと、上記ローカル地図データ記憶手段に記憶された上記ローカル地図データと、を比較することにより検出された変更度合に基づいて、上記地図データの上記重要度を設定することを特徴とする、ナビゲーションシステム。

【請求項 4】

地図データを記憶する記憶部を少なくとも備えたナビゲーションサーバに通信可能に接続された、制御部と記憶部とを少なくとも備えたナビゲーション装置であって、

上記ナビゲーション装置の上記記憶部は、

上記ナビゲーションサーバから送信される上記地図データを記憶する地図データ記憶手段と、

上記ナビゲーション装置にてローカルに保持されるローカル地図データを記憶するローカル地図データ記憶手段と、

を備え、

上記制御部は、

上記地図データ記憶手段に記憶された上記地図データと、上記ローカル地図データ記憶手段に記憶された上記ローカル地図データと、を比較することにより、上記地図データの重要度を設定する重要度設定手段と、

上記重要度設定手段により設定された上記重要度に基づいて、上記地図データを上記地図データ記憶手段から削除する削除手段と、

を備えたことを特徴とする、ナビゲーション装置。

【請求項 5】

地図データを記憶する記憶部を少なくとも備えたナビゲーションサーバ、および、制御部と記憶部とを少なくとも備えたナビゲーション装置、を通信可能に接続したナビゲーションシステムにおいて実行される保存データ削除方法であって、

上記ナビゲーション装置の上記記憶部は、

上記ナビゲーションサーバから送信される上記地図データを記憶する地図データ記憶手段と、

上記ナビゲーション装置にてローカルに保持されるローカル地図データを記憶するローカル地図データ記憶手段と、

を備え、

上記ナビゲーション装置の上記制御部において実行される、上記地図データ記憶手段に記憶された上記地図データと、上記ローカル地図データ記憶手段に記憶された上記ローカル地図データと、を比較することにより、上記地図データの重要度を設定する重要度設定ステップと、

上記ナビゲーション装置の上記制御部において実行される、上記重要度設定ステップにて設定された上記重要度に基づいて、上記地図データを上記地図データ記憶手段から削除する削除ステップと、

を含むことを特徴とする、保存データ削除方法。

【請求項 6】

地図データを記憶する記憶部を少なくとも備えたナビゲーションサーバに通信可能に接続された、制御部と記憶部とを少なくとも備えたナビゲーション装置において実行される保存データ削除方法であって、

上記ナビゲーション装置の上記記憶部は、

上記ナビゲーションサーバから送信される上記地図データを記憶する地図データ記憶手段と、

上記ナビゲーション装置にてローカルに保持されるローカル地図データを記憶するロー

カル地図データ記憶手段と、

を備え、

上記制御部において実行される、

上記地図データ記憶手段に記憶された上記地図データと、上記ローカル地図データ記憶手段に記憶された上記ローカル地図データと、を比較することにより、上記地図データの重要度を設定する重要度設定ステップと、

上記重要度設定ステップにて設定された上記重要度に基づいて、上記地図データを上記地図データ記憶手段から削除する削除ステップと、

を含むことを特徴とする、保存データ削除方法。